

「電力の小売営業に関する指針」(改定案) に対する意見

[氏名]	(企業・団体の場合は、企業・団体名、部署名及び担当者名) グリーン購入ネットワーク (GPN) 事務局 深津学治
[住所]	〒103-0002 東京都中央区日本橋馬喰町 1-4-16 馬喰町第一ビル 9F
[電話番号]	03-5642-2030
[FAX番号]	03-5642-2077
[電子メールアドレス]	gpn@gpn.jp
[御意見]	<p>・ 該当箇所 (どの部分についての意見か、該当箇所が分かるように明記して下さい。)</p> <p>1 需要家への適切な情報提供の観点から望ましい行為及び問題となる行為 (3) 電源構成等の適切な開示の方法</p> <p>・ 意見内容</p> <p>「小売電気事業者の電源構成と二酸化炭素排出係数の開示」を「望ましい行為」とするのではなく、<u>すべての小売電気事業者が開示しなければならない重要な情報と位置づける</u>ことを求める。</p> <p>・ 理由 (可能であれば、根拠となる出典等を添付又は併記して下さい。)</p> <p>本指針案にも「電源構成等の開示が行われると、<u>価格以外の特性を差別化要素とした競争が生じ、より競争的な電力市場の実現に資することが期待される</u>。さらに、平成26年4月に策定された「エネルギー基本計画」においては、需要家が多様な選択肢から自由にエネルギー源を選ぶことで、<u>エネルギー供給構造がより効率化されることが期待される</u>とともに、供給側においても供給構造の安定性がより効果的に発揮されることにつながるという考え方が示されている。」とある。需要家が、電力会社を選択する際には、様々な情報(料金、サービス内容、信頼性、環境負荷など)を比較検討することになるが、<u>電源構成は単に価格面だけではなく、環境面等電力供給に求められる諸条件を踏まえ需要家が適切な判断をするための重要な情報源</u>であるが、開示している事業者は少ない(資源エネルギー庁による2016年5月のアンケート調査では開示済が26%、今後開示予定を合わせると72.9%)。一般電気事業者(10電力)の中には、FITによる再生可能エネルギーかどうかを示しておらず、いまだ望ましい形での開示をしていない事業者もある。電源構成について情報開示しない事業者が7割を超える現状や、将来的に3割近い事業者が情報開示しない市場では、<u>環境面での適切な選択ができるとは言えない</u>。「小売電気事業者の電源構成と二酸化炭素排出係数の開示」を「望ましい行為」とするのではなく、<u>すべての小売電気事業者が開示しなければならない重要な情報と位置づける</u>ことを求める。</p>

・該当箇所（どの部分についての意見か、該当箇所が分かるように明記して下さい。）

1 需要家への適切な情報提供の観点から望ましい行為及び問題となる行為

（3）電源構成等の適切な開示の方法

イ 望ましい行為及び電源構成等の算定や開示を行う場合の具体例

i) 電源構成の開示

・意見内容

「小売電気事業者の電源構成と二酸化炭素排出係数の開示」にあたっては、複数の事業者間の比較が容易になるよう消費者にわかりやすい形で表示を統一すべきである。

・理由（可能であれば、根拠となる出典等を添付又は併記して下さい。）

需要家は、様々な情報（料金、サービス内容、信頼性、環境負荷など）を比較検討して、電力会社を選択するが、環境負荷面については電源構成ならびに二酸化炭素排出係数は重要な情報である。この開示にあたり、電力会社間で表示内容（対象期間、電源の種類、定義、グラフ等の表現）が異なると、需要家が比較検討できなくなるため、複数の事業者間の比較が容易になるよう消費者にわかりやすい形で表示を統一すべきである。

欄外の添付資料：各社の表示事例を参照。グラフ、表による表現（配色や電源種別の表現や順序）に統一性がなく、事業者間の比較が難しい。

・該当箇所（どの部分についての意見か、該当箇所が分かるように明記して下さい。）

1 需要家への適切な情報提供の観点から望ましい行為及び問題となる行為

（3）電源構成等の適切な開示の方法

イ 望ましい行為及び電源構成等の算定や開示を行う場合の具体例

i) 電源構成の開示

・意見内容

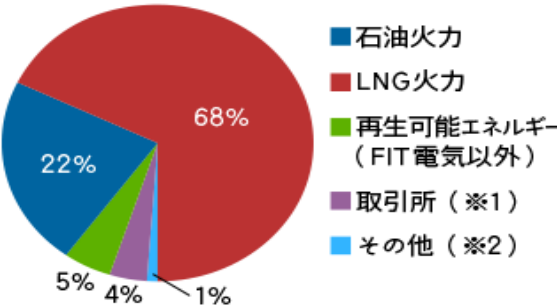

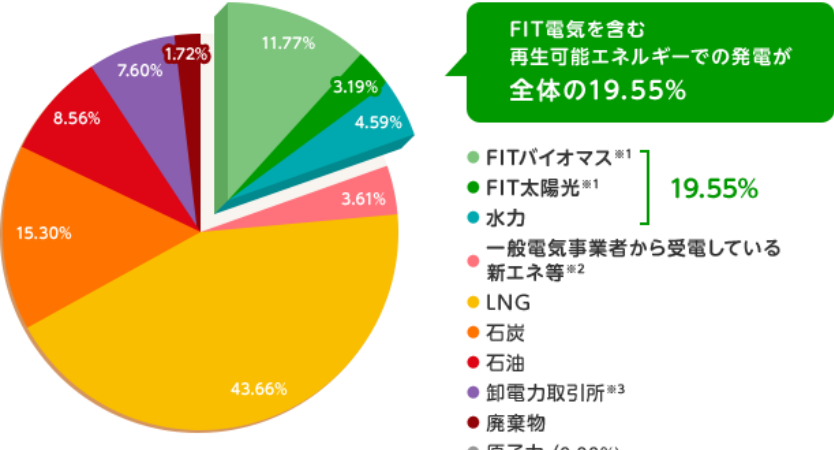
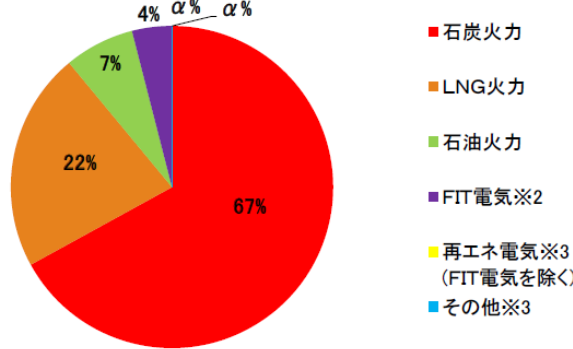

「ホームページやパンフレット、チラシ等を通じて需要家に対する電源構成の情報の開示を行うこと（その際には、需要家にとってわかりやすい形で掲載・記載すること）が望ましい。」は、あいまいでわかりにくい。具体的な掲載箇所を明示して統一すべきである。

・理由（可能であれば、根拠となる出典等を添付又は併記して下さい。）

需要家が、電源構成等の情報に容易にアクセスできないと事業者間の比較に使えないため、情報の開示場所についても、事業者のホームページのTOPページや領収書、パンフレットの表紙等、掲載箇所を明示して統一するべきである。

○添付資料：各社の電源構成表示例（ホームページより抜粋）

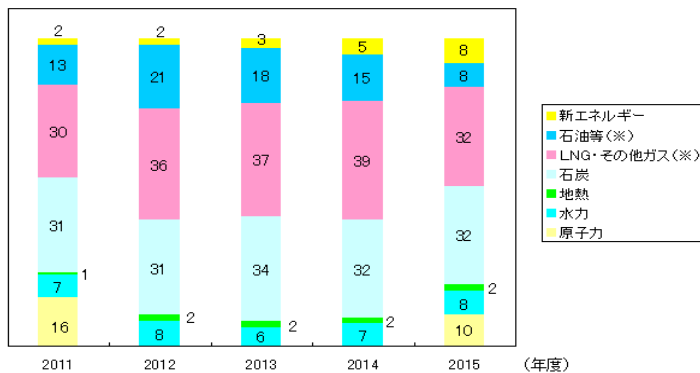
グラフ、表による表現（配色や電源種別の表現や順序）に統一性がなく、事業者間の比較が難しい。

<p>当社の電源構成（2014/4/1-2015/3/31）</p>  <ul style="list-style-type: none"> ■ 石油火力 ■ LNG火力 ■ 再生可能エネルギー (FIT電気以外) ■ 取引所 (※1) ■ その他 (※2) 	<p>JX エネルギー株式会社 http://www.noe.jx-group.co.jp/denki/about/electricity.html</p>
<p>再生可能エネルギーで発電されたFIT電気比率 約60%</p>  <ul style="list-style-type: none"> ■ FIT電気※1 ■ リサイクル発電※2 ■ 卸電力取引所※3 ■ その他※4 	<p>SB パワー株式会社 http://www.softbank.jp/energy/price/fit/</p>
<p>[常時バックアップ/インバランス補給/JEPX含む]</p>  <p>FIT電気を含む再生可能エネルギーでの発電が全体の19.55%</p> <ul style="list-style-type: none"> ● FITバイオマス※1 ● FIT太陽光※1 ● 水力 ● 一般電気事業者から受電している新エネ等※2 ● LNG ● 石炭 ● 石油 ● 卸電力取引所※3 ● 廃棄物 ● 原子力 (0.00%) 	<p>ミツウロコグリーンエネルギー株式会社、株式会社ミツウロコ https://mitsuurokogreenenergy.jp/mge/feature/</p>
 <ul style="list-style-type: none"> ■ 石炭火力 ■ LNG火力 ■ 石油火力 ■ FIT電気※2 ■ 再エネ電気※3 (FIT電気を除く) ■ その他※3 	<p>沖縄電力株式会社 www.okiden.co.jp/shared/pdf/corporate/profile/s_and_d.pdf</p>
	<p>東京ガス株式会社 http://power.tokyo-gas.co.jp/source.html</p>

	種別	年度未設備 (万kW)	発電電力量 (億kWh)		
発電 設備	水力	一般	388(9)	143(10)	
		揚水	506(12)	10(1)	
		小計	894(21)	153(10)	
	火力	石油・その他	857(20)	255(17)	
		LNG	1,018(24)	686(46)	
		石炭	499(12)	358(24)	
		小計	2,374(55)	1,299(88)	
	原子力	1,015(23)	0(0)		
	新エネルギー	49(1)	30(2)		
	合計	4,332(100)	1,482(100)		

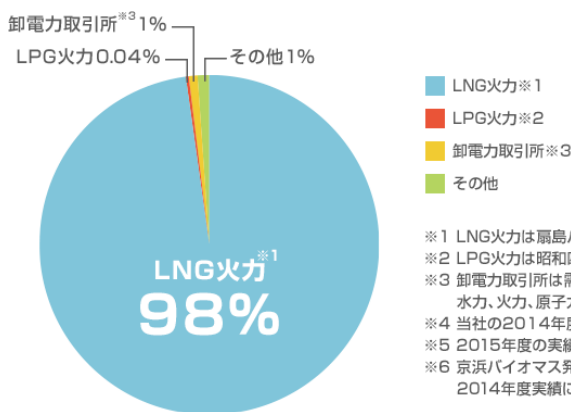
関西電力株式会社

<http://www.kepco.co.jp/corporate/profile/outline.html>



九州電力株式会社

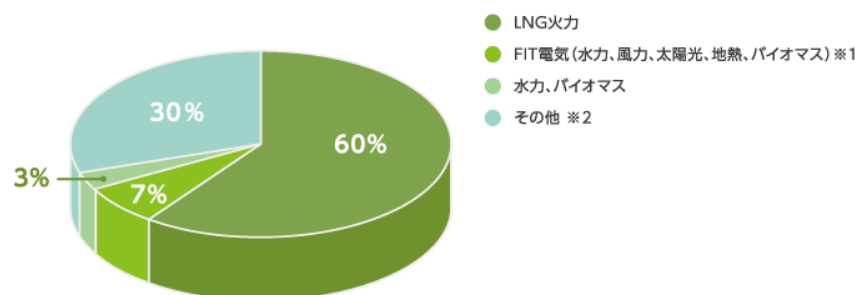
http://www.kyuden.co.jp/ir_financial_supply.html



昭和シェル石油株式会社

<https://sss-denki.jp/supply/>

※1 LNG火力は扇島パワー発電所で発電された電力となります。
 ※2 LPG火力は昭和四日市石油発電所で発電された電力となります
 ※3 卸電力取引所は需給調整のために購入した電力となり、この電費は水力、火力、原子力、FIT電気、再生可能エネルギーなどが含まれます。
 ※4 当社の2014年度の調整後CO2排出係数は0.353kg-CO2/kWh
 ※5 2015年度の実績値は確定次第、掲載いたします。
 ※6 京浜バイオマス発電所は2015年11月から稼働しているため、2014年度実績には含まれていません



株式会社エネット

<http://www.ennet.co.jp/about/>